

諫早駅 ▶ 諫早神社

Isahaya

諫早駅から徒歩約5分



列車でぶらり 自然と歴史めぐり 諫早駅〜諫早神社



諫早神社の前を流れる本明川(上)と
宮司の宮本健一さん(下)



クスノキに守られた境内を歩けば、心が落ち着く。
お参りの時間をゆっくりと楽しみたい。

「健康」の神様をお祀りしている諫早神社には
疫病退散のご加護があるようにと
「大きき日本一のアマビエさま木像」が奉納されている。



一粒万倍日は手元にある
わずかなものが何倍にも
膨らむとされる縁起のいい
日。この日だけに頒布される
毛筆のみで描かれた限定
御朱印(上)と、西九州
新幹線「かもめ」開業を記
念した御朱印(右)。



花鳥風月シリーズの3月の
御朱印はソメイヨシノ(左)
とムソゴロウ(右)。



諫早名物「おこし」とコラボした「神社おこし」と
長崎県産のショウガを使った「神社エール」。



「アマビエ」や「うないさん」をモチーフにしたおみくじ。
真ん中は2023年限定の「イチゴうないさんみくじ」。

旅の安全を祈願し、御朱印を
いただいた。諫早神社では、月
ごとに変わる花鳥風月シリーズ
や一粒万倍日(当日限定)など、
実に多彩な御朱印がある。
そのどれもが素敵なデザイン
で、思わず集めたくなくなってしま
う。また御守もオリジナルのもの
が多く、選ぶのが楽しい。
「明日もまた来たいと思ってい
ただける神社にしたい」と話す
のは、宮司の宮本健一さん。
「神社は日本や地域の文化を発
信する場でもあると考えていま
す。例えば、長崎がショウガの
発祥地であるという説がありま
す。このことを知ってもらいた
いという思いから、「神社エ
ンジャー」として『神社エ

ル』や『神社カステラ』といっ
た、ショウガを使った御神饌
(供え物)をご用意しました。
諫早神社では月参りや節分な
ど、伝統的な年中行事の活性化
を図っているほか、地域活性化
プロジェクトとして、諫早のゆ
るキャラ「うないさん」をあし
らった絵馬・おみくじや、新幹
線開業記念の御朱印を頒布する
など、地域の人たちと連携しな
がら、さまざまな取り組みを
行っている。宮本さんは「今後
は、神社だからこそ感じられる
文化について考えていきたいで
す。みんなで一緒に地域を盛り
上げていけたらいいですね」と
笑顔を見せた。

大 村湾の美しい風景を堪能
したいと、初めに選んだ
のは列車の旅。JR長崎駅をス
タートし、のんびり佐世保方面
へと向かう。車窓から見える風
景はのどかで、一瞬にして日常
を忘れさせてくれる。
まず降り立ったのは諫早駅。
二〇二二年九月二十三日、待望
の西九州新幹線「かもめ」が開
業し、盛り上がりを見せている
駅のひとつだ。新幹線開業に合
わせてモダンに生まれ変わった
駅舎を後に五分ほど歩くと、諫
早神社にたどり着く。

諫早神社は九州の守り神を祀
る神社で、地元の人からは「お
四面さん」として親しまれてい
る。創建から千二百九十五年の
歴史を有し、境内にそびえる巨
大なクスノキは、神社を創建し
た行基によって植えられたと伝
わる。風が吹くたびに葉音を立
てるクスノキにしばし癒された。

新しくなった 諫早のまちと お四面さんと。



新しくなった諫早駅

